



平成19年5月7日

国土交通省道路局長 様

北海道茅部郡鹿部町長 川 村



中期的な計画の作成に当たっての意見・要望等について
平成19年4月2日付国道企第114号に係るこのことについて、別紙のと
おり提出しますので、よろしくお取りはからい願います。

道路政策に対する意見・要望事項

地域の課題を解決するため、以下の重点事項を優先的に進める必要があります。

重点事項	該当路線	対 策	必要とする内容
地域の自立と競争力の強化	道道43号 国道5号 国道278号	1、高度医療施設(総合病院)への到達時間の短縮対策	鹿部町内には、総合病院がなく、函館市内の総合病院に救急搬送される場合には、1時間を要することから、心肺停止、多量出血等の患者の場合には、救命率に大きな差が生じることから、医療施設への高速アクセスの整備が急務。
		2、国道278号鹿部バイパスの早期整備(鹿部道路)	鹿部バイパスは、駒ヶ岳噴火災害時における唯一の避難道路であります。ご承知のように道道43号(大沼公園鹿部線)は、駒ヶ岳噴火時においては、国道5号との交差点で通行止めとなることから、鹿部町からの避難道路は、旧南茅部町に通じる国道278号1本であること。又、現在大和リゾート地区には262世帯、498名の方々駒ヶ岳の麓で生活され、駒ヶ岳災害時には、早急に避難させなければ危険な地区であることから、バイパスの早期完成を要望する。
安全・安心の確保	道道43号 国道5号 国道278号	1、津波災害時の避難対策	津波災害時における避難道として、道道43号を通過して大沼、七飯方面への避難における道路の整備が課題となっている。
		2、歩道の整備(幼児・高齢者対策)	現国道は歩道の整備が十分でなく、幼児・高齢者が転倒する危険性があることから、整備が急務。
		3、冬期交通障害対策(除雪、路面滑り止め対策)	道道43号(道道大沼公園鹿部線)は、冬期間には、アイスバーンになることから、交通事故が絶えない状況である。買い物や病人の救急搬送においても非常に危険な道路であることから、滑り止め対策は最重要課題。
		4、国道5号の複線化(交通事故対策)	大型車の低速運転による渋滞等の緩和のため、複線化の早期整備を要請する。
		5、国道278号尻無川のボックスカルバートの改修	駒ヶ岳噴火において土石流が発生した場合の尻無川の国道下のボックスカルバートが破損する可能性があることから、早期整備が急務。
豊かな生活環境の創造	道道43号 国道5号 国道278号	1、災害情報の提供(道路表示板の利用・・・津波情報、火山情報等)	国道、道道に設置されている道路情報表示板を火山以外の災害情報の提供施設として利用(地震・津波情報、火山レベル情報)できるよう体制の整備を要請する。
		2、国道278号(現道)の整備	高齢者や障害者が歩きやすい歩道づくり、休憩箇所づくり、明るい道路づくり(街灯整備)などにより、道路敷地を活用した地域の賑わい・交流づくり空間の形成を図るため、現道の早期整備を要望。
高速ネットワークの効率的活用・機能強化	道道43号 国道5号 国道278号	1、物流の効率化(漁港からの新鮮魚介類の高速運送)	魚介類を高速ネットワークにより、消費地に輸送することにより、新鮮で美味しい魚介類の提供が可能となることから、高速ネットワークの整備が急務。